

滋賀県病院協会報

令和8年度を迎えるにあたって



一般社団法人滋賀県病院協会 会長
三木 恒治 (済生会滋賀県病院 院長)

令和8年度を迎えるにあたり一言ご挨拶を申し上げます。会員各位におかれましては、日頃より本協会活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、6月1日にはいよいよ令和8年度診療報酬改定が施行されます。本会部分プラス3・09%という約30年ぶりの大幅な引き上げは、物価高騰と人件費増加のなかで厳しい経営を強いられるきた病院にとって、待望の転換点であります。入院基本料の増額や物価対応料の新設、急性期病院A・Bという新たな入院基本料の創設など、病院機能に応じた評価体系の再構築が図られる一方、ベースアップ評価料の未届出には減算が適用されるなど、まさに「条件付きのプラス」といえましよう。施行まで残り2ヶ月、届出準備と施設基準の精査を着実に進めていただきますと存じます。

年までの具体的対応を目前に本格化してまいります。従来の病棟単位の病床機能報告に加え、高齢者救急等機能、在宅医療連携機能、急性期拠点機能、専門等機能という四つの「医療機関機能」の報告が新たに求められます。「治す」医療機関と入院にこだわらず外来・在宅・介護連携までを包含する「治し支える」医療への転換が提示されております。本年度中に国のガイドラインが示され、来年度には各都道府県が新構想を策定する予定であり、自院がどの機能を担い地域のなかでどう連携していくのか、各病院が将来像を描くうえで極めて重要な局面を迎えております。

加えて、医療DXの推進も喫緊の課題であります。生成AIやRPA等を活用した業務効率化の先進事例も蓄積されつつあり、生産年齢人口が減少するなかで、より少ない人手でも質の高い医療を提供できる医療生産性を高められる環境づくり



発行所
滋賀県病院協会
大津市京町四丁目3-28
(滋賀県厚生会館)
TEL 077-525-7525
http://sbk.co-site.jp/
発行人 会長 三木 恒治

令和7年度滋賀県病院大会

盛会裡に終る



座長
一般社団法人滋賀県病院協会 理事
高折 恭一 (市立長浜病院 院長)

滋賀県病院大会は、県下の病院従事者が一堂に会し、病院をめぐる諸問題について協議と研究を深め、今後の病院運営に資するため開催することを趣旨としており、昭和56年度から開催されてきた歴史ある大会です。今回は、滋賀県病院協会創立75周年を記念する第45回大会として、令和8年2月1日(日)に、ピアザ淡海ピアザホールにて開催させていただきました。

式典、特別講演、パネルディスカッションの三部構成で、式典は13時から開催され、一般社団法人滋賀県病院協会の三木恒治会長(済生会滋賀県病院)による開会挨拶、続いて表彰状授与が執り行われました。病院業務功労者表彰、三日月知事の代理として登壇の岸本織江副知事は、受賞者5名に一人ずつ賞状と記念品を授与され、長年にわたる労をねぎらわれました。続いて

病院協会優秀職員会長表彰受賞者12名には、三木会長から賞状と記念品が授与されました。また、同一病院に引き続き30年以上勤務・15年以上勤務の方を対象とする永年勤続会長表彰には、それぞれ38病院423名、47病院367名の方々が該当され、各位の代表者に会長から賞状と記念品が手渡されました。

続いて、ご来賓の滋賀県副知事 岸本織江様、滋賀県議会議長 目片信悟様、一般社団法人滋賀県医師会会長 高橋健太郎様のお三方から祝辞を頂戴するとともに、ご後援を頂戴した関係団体各位をご紹介し、式典は無事終了しました。

特別講演は、東京慈恵会医科大学整形外科学講座主任教授の齋藤充先生をお迎えし、当協会の三木会長が座長を務められた「なぜ骨粗鬆(しょう)症は一人として逃げられない? 未知の病なのか?」

「新しい骨粗鬆(しょう)症の恐怖と対策」というタイトルで1時間の講演を行なっていたが、日本人は椎体骨折の多い人種で、5人に1人は椎体骨折を発症すること、椎体骨折がある方の死亡リスクは骨折のない方に比べて死亡リスクは約8倍高く、5年生存率は70%とかなり低いことが示されました。さらに、女性の大腿骨近位部骨折の予後は肺がんよりも不良であるというショッキングなデータも紹介されました。これらの骨折を予防するために治療的介入が重要ですが、その方法については、新たなエビデンスが出てきており、骨粗鬆症の予防と治療ガイドラインも日進月歩で進化しているとのことでした。また、日本人の79%がビタミンD不足であり、栄養面にも留意する必要があることを強調されました。骨密度が高くても骨折することがあり、その病態について、骨を構成するカルシウムをコンクリートに、コラーゲンを鉄筋と見立てて、鉄筋コンクリートの強度を維持する

がまた別のフレイルを引き起こすフレイルドミノの問題、病院での転倒予防の取り組み、早期リハビリテーションの重要性について解説いただきました。さらに、病院におけるリハビリテーションの加算についても情報提供をいただきました。福祉法人恩賜財団済生会滋賀県病院副院長の竹下博志先生は、「骨粗鬆症の予防と対策」2025年版ガイドラインと地域社会の役割」というタイトルで、滋賀県における地域医療の立場からガイドラインを読み解き、「骨貯金」、検診率の向上、薬物療法を含めた積極的治療、多職種連携、ネットワークの構築などの骨粗鬆対策について、ご講演いただきました。その後、特別講演の齋藤充先生にも加わっていただき、演者全員が登壇してパネルディスカッション



令和7年度滋賀県病院大会(第45回・創立75周年記念) 式典



特別講演 東京慈恵会医科大学 主任教授 齋藤 充 先生のご講演



パネルディスカッション

を行いました。会場からもご発言をいただくことができ、骨粗鬆症に関する最新の知見から現場の実情までを網羅した情報を共有し、お互いに理解を深める有意義な機会となったと思われまます。

最後に、当協会の来見良誠副会長(地域医療機能推進機構滋賀病院)から閉会挨拶をいただき、大会を盛会裡に終えることができました。ご協力をいただきました関係者の皆さまに深く感謝申し上げます。

私の主張



治療から予防へ

人口減少時代における地域中核病院の使命

彦根市立病院 院長 中野 顯 (滋賀県病院協会 理事)

地域住民の健康と安心を守り続けていくかが問われている。しかし現実には、厳しい

我が国における人口減少と高齢化の進行は、地域社会の姿を少しずつ、しかし確実に変えつつある。とりわけ地方都市においては、生産年齢人口の減少と高齢者人口の増加が同時に進み、医療需要は量的拡大から質的転換の段階へ移行している。新たな地域医療構想でも示されているように、慢性的な医療資源不足が、限られた人材と機能をいかに有効に活用し、これからの地域医療に

令和7年度 滋賀県病院協会 院長・事務長合同研修会を開催して



一般社団法人滋賀県病院協会 事務長部長会長 社会福祉法人恩賜財団済生会滋賀県病院 事務部長 籠谷 弘和

令和8年1月21日(木)15時から一般社団法人滋賀県病院協会主催にて、令和7年度 院長・事務長合同研修会が開催されました。

今回は、「超高齢化社会



西山医院 理事長・院長西山 順博 先生のご講演

に欠かすことのできない人生会議(ACP・Advance Care Planning)をテーマとし、医療法人西山医院 理事長・院長の西山 順博先生をお招きしてご講演いただきました。42病院70名の病院長、事務(部)局長にご参加いただきました。



院長事務長合同研修会

はじめに在宅医療を支援する本来の意味として、病院医療は生きていくこと、命への支援であるが、在宅医療は、生きていくこと、生活への支援であり、医療支援、介護支援のみならず、生活支援(住まい・食事・掃除など)、生きがい支援(思いや願いを達成する・QOLの向上)などの支援(自分らしい生活・愛する家族・慣れ親しんだ暮らし)と広範囲であること

令和7年度 滋賀県病院協会 第3回医事研究会に参加して



医療法人徳洲会 近江草津徳洲会病院 医事課 課長補佐 田島 嵩之

令和8年3月12日(木)ピアザ淡海3階大会議室にて「滋賀県病院協会 第3回医事研究会」が開催され、司会として参加させていただきました。40病院の医療機関関係者、関係職種の方々、合計122名にお集まりいただき、今年度役員として深く感謝いたします。今回の医事研究会は令和8年度診療報酬改定の説明会として、株式会社グローバルヘルスコンサルティング・ジャパン シニアマネージャー 湯原淳平様に「2026年度診療報酬改定をどう受け止めるか 最速の解釈と対策」をテーマにご講演いただきました。診療報酬改定について幅広い情報がある中、たくさん情報に非常に悩まされておりました。そして最も重要なのは、あらかじめ代理意思決定者を選定し、患者利用者と代理意思決定者が、病状を共有したうえで患者が生活や療養で何を大切にしたいか、何を希望しているのかを話し合い、それを医療従事者とも共有することで、代理意思決定者は医療従事者とともに、直面する複雑な医療状況に対応することが可能になると考えており、このプロセス

診療報酬改定について幅広い情報がある中、たくさん情報に非常に悩まされておりました。そして最も重要なのは、あらかじめ代理意思決定者を選定し、患者利用者と代理意思決定者が、病状を共有したうえで患者が生活や療養で何を大切にしたいか、何を希望しているのかを話し合い、それを医療従事者とも共有することで、代理意思決定者は医療従事者とともに、直面する複雑な医療状況に対応することが可能になると考えており、このプロセス



講師



今年度の研修会に参加させていただき、今後の取り組みに活かしていきたいと思っております。本当にありがとうございました。

令和7年度 入退院支援機能強化事業 訪問看護ステーション同行・見学後の 情報交換会に参加して



公益財団法人青樹会 滋賀八幡病院
看護部副部長 北村 誠
(入退院支援機能強化事業 東近江圏域検討委員)

訪問看護ステーションの同行見学は入退院支援機能強化事業の一環として平成28年度より開催されています。この研修は、入院時から退院後の生活を見据えて退院後の支援に取り組む必要性から、地域で活躍されている訪問看護師に同行見学し、実際の場面を体験し情報交換することにより在宅療養の視点を学ぶ目的で開催されています。また、院内退院支援体制の構築や退院支援を必要とする患者を切れ目なく地域につながる看護連携強化を図ることも期待しています。

令和8年3月10日、訪問看護ステーション同行見学後の情報交換会が危機管理センターにおいて開催されました。見学者は、事前に提出したレポートから私たちが検討委員も参加し情報交換を行いました。交換会には10病院12名、訪問看護ステーション4箇所4名と令和7年度入退院支援機能強化事業検討委員9名の合計25名が参加されました。

交換会は、3つのテーマをもとに行いました。

①「見学研修後、自施設の入退院支援での変化」
②「今後活かしていきたいこと」
③「在宅療養における防災対策、感染症危機管理対策についての学び」

今回の研修目的でありましたが「生活を見据えた退院後の支援」が大切であることについて情報交換会を通じて、今後特に臨床現場で意識して取り組みたいと見学者参加者からの発言が多くあり、原点は、「生活」ここにあることを再度認識し振り返ることができました。最後に、総評として、滋賀県訪問看護ステーション連絡協議会副会長、訪問看護ステーションなかさと管理者、田中陽子氏よりコメントをいただきました。改めて病院組織の役割も重要ですが患者を取り巻く一連の支援においては「点」しかすぎなく、院外の支援者との連携により「線」でつなぎ、それを強化することで「面」で患者の支援を強化できればと思います。今回の研修で学んだことを臨床の場に還元していきたいと思っています。



訪問介護ステーションの方々とグループワーク

「令和7年度 滋賀県臨床研修医 総合オリエンテーション」を開催して

3月28日(土)14時～17時に琵琶湖ホテルにて、「令和7年度 滋賀県臨床研修医総合オリエンテーション」が開催され、70名の参加がありました。このオリエンテーションは、本県地域医療に対する意識の醸成を図り、本県で新たに臨床研修を始める医師の方々を対象とし、本県の課題や取り組みを発信するともに、若手医師同士の関係構築の場を提供することで、県内定着を促進し、医師の安定的な確保を図ることを目的とし、昨年度から県の委託事業として開催されているものです。当協会の三木会長の開会挨拶、滋賀県知事からのビデオメッセージに始まり、第一部として滋賀県健康医療福祉部医療政策課からは、滋賀県の医師確保の課題や取り組みについて情報が発信されました。その後、現場で活躍する医師として、当協会副会長であり長浜赤十字病院楠井隆院長から、今年度も、昨年度好評であった講演「人格のかん養」って何? が、これから医師としてスタートする方々に向けて話されました。その後、滋賀県医師会からのメッセージがありました。第二部では、会場を移動し、大津赤十字病院 卒後臨床研修センター長の内山達樹先生による初の試みとなるグループワーク、ワールドカフェ3ラウンドが行われました。「夢の研修病院プロジェクト」みんなで理想の研修病院を考えよう」をテーマ



第1部 会場の様子



第2部 会場の様子



ワールドカフェ

として、12テーブルに分かれ、県内臨床研修病院から10名の指導医、14名書き込まれ、熱心なグループワークとなりました。交えて、希望に満たない未の病院の姿が模造紙に書き込まれ、熱心なグループワークとなりました。



全員で記念写真

お知らせ

病院協会今後の行事予定

- 令和8年
4月22日(水) 令和8年度第1回理事会(リモート開催)
配信会場：滋賀県病院協会 会議室
- 5月26日(火) 令和8年度第2回理事会
令和8年度通常総会懇談会
会場：びわ湖大津プリンスホテル
- 6月17日(水) 令和8年度第3回理事会(リモート開催)
配信会場：滋賀県病院協会 会議室
- 10月11日(日) 第37回ソフトボール大会



受賞おめでとうございます

令和7年度滋賀県病院大会

(第45回・創立75周年記念)

令和8年2月1日(日) 13時~16時40分

ピアザ淡海にて表彰状授与式

◆病院業務功労者知事表彰 5名

(五十音順)



高島市民病院 看護部長
岡田 裕子氏



地方独立行政法人
市立大津市民病院 副院長
高見 史朗氏



社会医療法人誠光会
淡海ふれあい病院 病院長
平野 正満氏



彦根市立病院 副院長
堀 裕彦氏



滋賀医科大学医学部附属病院
副診療放射線技師長
吉村 雅寛氏

滋賀県病院協会
優秀職員会長表彰

12名(五十音順)

近江八幡市立

総合医療センター

医療技術部長

板橋 達幸氏

大津赤十字病院

薬剤部長

上田 豊美氏

高島市民病院

放射線科部長

木上 裕輔氏

彦根市立病院

副院長

來住 優輝氏

社会福祉法人恩賜財団

済生会滋賀県病院

副看護部長

木村 里美氏

医療法人社団仁生会

甲南病院

看護師

甲川 志津子氏

地方独立行政法人

市立大津市民病院

看護局長

須佐美 智子氏

地方独立行政法人

公立甲賀病院

医療技術部長

馬場 一也氏

医療法人友仁会

友仁山崎病院

看護部長

三上 千恵氏

社会医療法人誠光会

淡海医療センター

病院長

森谷 季吉氏

滋賀医科大学

医学部附属病院

臨床工学部技師長

吉田 均氏

一般社団法人水口病院

介護老人保健施設

スキナウミア甲賀施設

吉村 秀隆氏



優秀職員会長表彰 受賞者



病院業務功労者知事表彰 受賞者



表彰式

◆令和7年度
救急医療功労者知事表彰

表彰式・令和8年3月27日(金) 滋賀県公館



地方独立行政法人
公立甲賀病院
副院長 脳神経外科部長
初田 直樹氏



滋賀医科大学医学部附属病院
救急集中治療医学講座 講師
藤野 和典氏



彦根市立病院
診療局主任部長
月野 光博氏



長浜赤十字病院
集中治療科部長(兼)
医療技術部長
長門 優氏

新任病院長の紹介

(令和8年4月1日付け)

大津赤十字志賀病院

院長 河南 智晴先生

滋賀医科大学医学部附属病院

病院長 野崎 和彦先生

独立行政法人地域医療機能推進機構滋賀病院

院長 中川 義久先生

医療法人良善会 ひかり病院

院長 土井 隆一郎先生

医療法人 山田整形外科病院

院長 富士居 和之先生

社会福祉法人びわこ学園

びわこ学園医療福祉センター草津

施設長 種子島 章男先生

滋賀県立総合病院

病院長 中村 敬哉先生

近江八幡市立総合医療センター

院長 本郷 文弥先生

独立行政法人国立病院機構

東近江総合医療センター

院長 谷 眞至先生

令和8年度滋賀県病院協会
新役員および
新事務局長のお知らせ

新事務局長のお知らせ

4月1日付けにて新副会長に辻川理事が就任いたしました。
また、滋賀県病院協会の事務局長も新しく着任いたしましたので、その旨も併せてご連絡させていただきます。

今後とも格段のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

新役員

会長 三木 恒治

副会長 楠井 隆

副会長 辻川 知之(新任)

新事務局長

有田 知浩(新任)